明るく　仲よく　たくましく　～「心のふるさと」となる　あ・な・た　を大切にする学校～
日仏文化学院パリ日本人学校　平成２６年度　学校だより　第１２号

*L'arc-en-ciel entre la France et le Japon*

平成２７年2月2日（月）発行　　［文責：河部］

## 児童・生徒の安全について（在仏大使館、外務省の指導・助言を受けて）

３学期の始業式早々、パリ市内において連続して発生したテロ事件、さらには中東地域でのＩＳＩＬ（いわゆるイスラム国）による日本人の拘束事件などを受けて、保護者の皆様には児童・生徒の登下校の送迎において引き続きご配慮いただきありがとうございます。また、パリ市内への校外学習の中止ならびに延期についてのご理解にも感謝申しあげます。なお、このことにつきましては、延期していた小学部６年生、来月に予定していた小学部５年生も含めて、パリ方面への社会見学等は中止させていただくこととしました。併せて、本校の安全警備体制についてのご不安も当然感じておられることと思います。このような状況下にあることから、１月２２日（木）に在仏大使館より、さらに翌２８日（水）には日本の外務省より学校訪問があり、本校施設の安全管理面の確認とともに、児童・生徒の安全確保に関する指導・助言をいただきました。２８日の会には、学校だけでなく、理事会や保護者の代表にもご参加いただき、より広範囲に連携を深めていくことの大切さについて認識を新たにしたところです。これらの会の内容について、いくつかお知らせをいたします。まず、外務省の警備専門官から、「警戒しておくべきことは外出中にテロ等の事件に巻き込まれたり、たまたま逃走先として犯人が偶発的に本校に侵入してきたりする可能性もあり、そういったことに対する備えが大切である。」という説明がありました。その意味では、先週の大使館の訪問の際に、本校は周囲すべてを２m超の柵で囲まれているとともに、両ゲートのセキュリティーや監視カメラの設置など、現地の学校と同等以上の設備を備えているとの判断をいただきました。さらに、１月２７日（火）、在仏大使館より地元モンティニー市警察に対して、パトカーによる本校周辺の巡回活動の要請をしていただいたとのお話をしていただきました（後日、同警察署長から警備協力の連絡有り。）。また、これまでも本校で何か起きた場合には市警察に直接連絡が入り、警察から直行していただくという緊急通報体制を構築しています。もちろん、職員による校舎内外の巡回態勢も、より頻度を高めて実施しています。（このことにつきましては、外務省より、テロを行おうとする場合、当然下見のための活動が行われることとなるので、周辺状況の異状の有無の確認が大切だという助言をいただきましたので、その視点を重視した巡回を行っています。）さらに、本校の場合はスクールバスによる児童・生徒の登下校の割合が高いため、バス運行に関する対応もしっかり考えていく必要があるとの助言もいただきました。このことにつきましては、有事の際のために複数のバスルート並びにバスポイントを設定しておくことも考えられるものの、本校のような規模ではそのことによる混乱のリスクが大きいということで、むしろ安全のためには休校措置の判断を適切に行う方が現実的であろうとのご意見もいただきました。このことに関しましては、休校措置の基準等について、今後、関係機関の助言もいただきながら、作成を急ぎたいと思います。また、学校としてサバック社に対してドライバーの変更等に関する情報提供の徹底を行うとともに、スクールバス運行の主体であるバス利用者の会の役員会の場において様々なご意見を伺いながら対応策の検討を進めていきたいと思います。併せて、バスに限らず、登下校中において不審に感じられることがあった場合には、いち早くそのことを学校まで連絡していただくということが児童・生徒の安全確保につながる基盤になると思いますので、その点のご協力につきましても、よろしくお願いいたします。以上、関係機関からの指導・助言を受けた取組について現時点でのお知らせをさせていただきました。学校としましては、児童・生徒の安全の確保を第一に、これまでの取組の再確認とともに、さらなる自衛の努力を進めてまいりたいと考えていますので、引き続きご理解と可能な範囲でのご協力をお願いいたします。

## 全校一斉に、書き初め会

３学期の始業式の当日である１月７日（水）、今年最初の行事である「書き初め会」を行いました。小学部１・２年生は各教室で硬筆、小学部３年生以上は大体育館で毛筆によって、各学年の課題に取り組みました。昨年度も感じたことですが、子どもたちはこの行事に対して本当に真剣に取り組みました。１～２時間の間ほとんど私語が聞かれることはなく、静まり返った会場の中で書き上げていました。中には、１枚の半紙に何回ともなく同じ字を練習している子ども、本番の前に何度も指先で字の形を確認している子ども、それぞれの思いが現れた練習風景でした。なお、出来上がった作品については、ご覧になった保護者の皆様もおありかと思いますが、校内に掲示し、お互いに作品を鑑賞し合う機会も設けました。

## スキー教室（中学部１・２年生）

１月１３日（火）～１７日（土）の５日間、中学部１・２年生はクールシュベルでの「スキー教室」を行いました。クールシュベルのゲレンデには十分な雪があり、生徒は３日間しっかり滑り込むことができたように思います。初級、中級、上級の３つのレベルごとに専属のインストラクターの指導を受け、生徒は一日ごとに技能を向上させていきました。私は初級の生徒に付いていましたが、子どもたちの吸収力というのは本当にすごいものだと改めて感じさせられました。なお、本活動の実施に伴い､集合･解散場所を変更したことでご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、大きな事故もなく終了することができたことに感謝申しあげたいと思います。また、通訳ならびに指導補助として同行した高橋さん親子には、本当に献身的に取り組んでいただきました。長年にわたり本活動に協力していただいていることもあり、細かいところまで配慮していただくことができました。ただ、本活動につきましては、昨年度の理事会での決定を受けて、保護者全体会の場におきましても次年度以降は取りやめるということについて一年前よりお知らせをしています。大きな理由としては､中学部１・２年生においては､年間１０日間もの宿泊を伴う活動を行っていること、次いで、本年度の実績として、体験学習と合わせて１，３５０ユーロもの参加費用を負担していただいているということがあります。なお、体験学習とスキー教室を隔年で実施してはというご意見もいただいていますが、中学部３年生の修学旅行との兼ね合いもあり、中学部の授業を通常どおり実施するうえからも難しいことと言わざるをえません。以上のことから、本活動の取りやめについてのご理解を重ねてお願いいたします。

### ２ 月 の 行 事 予 定 表

| | | | |
|---|---|---|---|
| １（日） | | １５（日） | |
| ２（月） | パリ日コンサート（～９日） | １６（月） | 体験入学開始　現地校交流（小１：ポールフォール校） |
| ３（火） | 委員会（小） | １７（火） | |
| ４（水） | | １８（水） | 現地校交流（小６：マネセンター） |
| ５（木） | 読聞せ（図書ボ）　新入生入学説明会 | １９（木） | 現地校交流（小３：ポールフォール校） |
| ６（金） | | ２０（金） | 授業参観・懇談会（中学部） |
| ７（土） | | ２１（土） | |
| ８（日） | | ２２（日） | 英検（二次） |
| ９（月） | | ２３（月） | |
| １０（火） | クラブ（小）　学年末テスト（中１・２年） | ２４（火） | 授業参観・懇談会（小学部） |
| １１（水） | 学年末テスト（中１・２年） | ２５（水） | 現地校交流（小４：マネセンター） |
| １２（木） | | ２６（木） | 現地校交流（小５：ポールフォール校） |
| １３（金） | 現地校交流（小１・２年：セットマレ校） | ２７（金） | 体験入学終了　現地校交流（小２：マネセンター） |
| １４（土） | | ２８（土） | |